

事例 1 松里福祉作業所（就労継続支援 B 型事業所）

【施設概要】

法人名	社会福祉法人松里福祉会
事業所名	松里福祉作業所
事業種別	就労継続支援 B 型（単独）
利用者定員	21 人 平均年齢 43.5 歳
平均利用者数（日）	19.8 人（平成 28 年現在）
事業所所在地	千葉県松戸市五香 5-10-3
URL	http://www.matsusato.or.jp/institution/

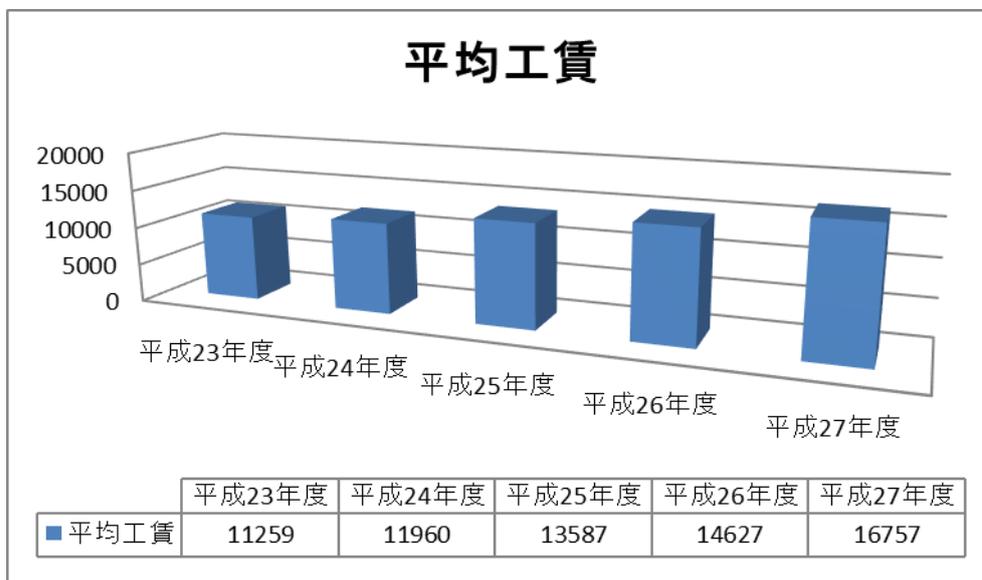
【事業概要】

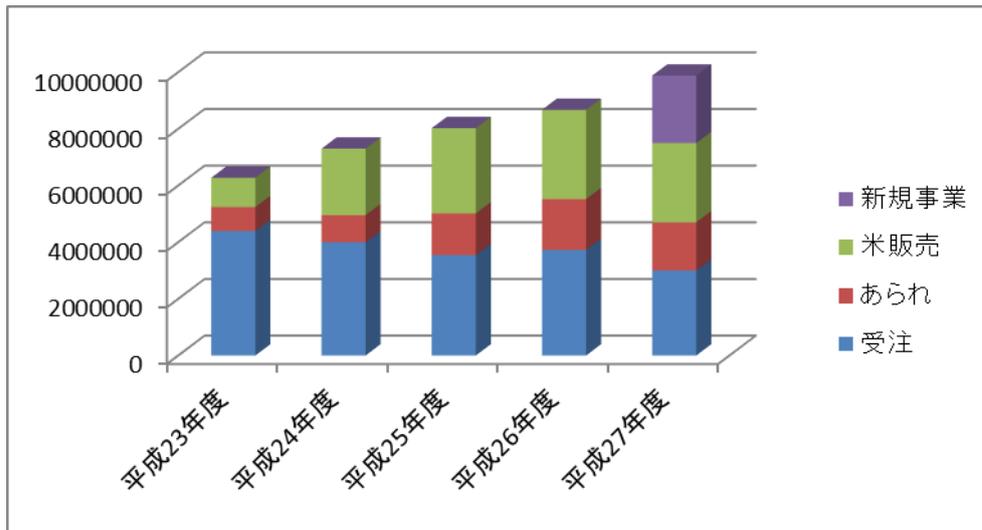
5 年前より工賃向上に取り組み始める。

今年度研修参加動機は、昨年度ワークショップで気づいた改善点を実行する。

事業所としての「ありたい姿」は、工賃 2 万円そしてその先へ。

平成 27 年度は 16,757 円（千葉県平均 13,660 円）、平成 28 年度の目標は 17,745 円。





平成 28 年度平均月額目標工賃 17,745 円

【直面する問題】

＜受注＞施設外就労で事業所内の人数が減った。どのようにシフトを組んで、どのように効率化していくか、その中で作業をどのように正確に行っていくかが課題。

取り組む課題	人数が減っても作業を効率的にかつ、正確に行うためにはどうしたらいいか。
対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大人数でかかっていた作業を少人数のシフトに変えた。 2. 作業の曜日を固定化した。 3. どの仕事を誰がやるかのシフトを組んだ。 4. いろいろな仕事を多くの利用者ができるようにした。 5. 作業記録、作業指示書を作成し、手順や工程を見直した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップメンバーが増え、変化に対応できるようになった。 ・納期にゆとりがあるシフトが組めるようになった
ポイント	作業前準備、仕様書、チェックシート

解説	効率化と品質の安定のためには、仕様書と作業手順書が有効です。またその効果を高めるために3S（整理、整頓、清掃）に取り組みことをおすすめします。これらの取り組みは、作業品質を高めるだけでなく、クレームを受けた場合の原因究明や再発防止に役立ち、かつ、相手が事業所の作業レベルを判断する1つの材料になります。
----	---

<施設外就労>

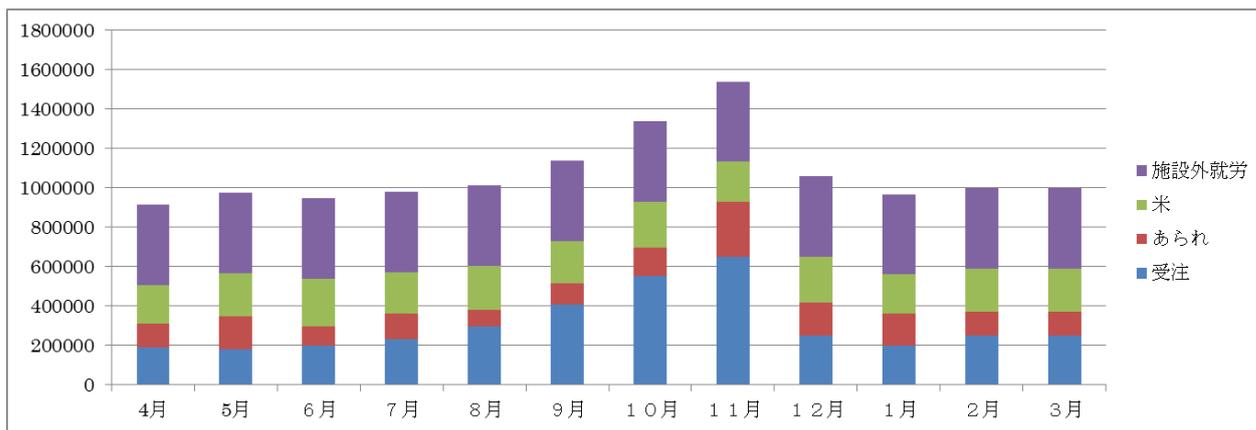
市内事業所と共同で病院内洗濯作業を行っている。事業所によって仕上がりに差があるなどクレームを受けていた。施設間で品質をそろえるにはどうしたらよいかが課題。

取り組む課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 品質の安定 2. 専門知識の乏しさ
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・共同で行っている事業所と一緒に洗濯業務に関する手順書を作成した。 ・専門知識を得るために、職員、利用者の研修を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・画像を使った手順書は誰が見ても分かりやすくなった。 ・利用者が手順書を見ながら見本通りにたたむことができた。 ・洗濯物すべての手順書を作成し、記憶に頼る作業を無くしていく。 ・各自が定期的に内容を確認できる手順書の活用をしていく
ポイント	品質の標準化
解説	<p>共同で行っている事業所と一緒に手順書を作ることで、考え方や作業のプロセスに共通の理解が得られます。この手順書を作成することで、関わる職員が手順書を見なくても品質が同じに仕上がることに、初めて関わる職員が手順書を見れば作業を理解できることが期待できます。</p> <p>仕上がりのバラつきがどれだけ減ったのかが最終成果なので、発注者からのフィードバックを定期的に受ける必要があります。（満足度アンケートなど）そのフィードバックを受けて改善を行うことで、発注者との信頼関係は生まれます。</p>

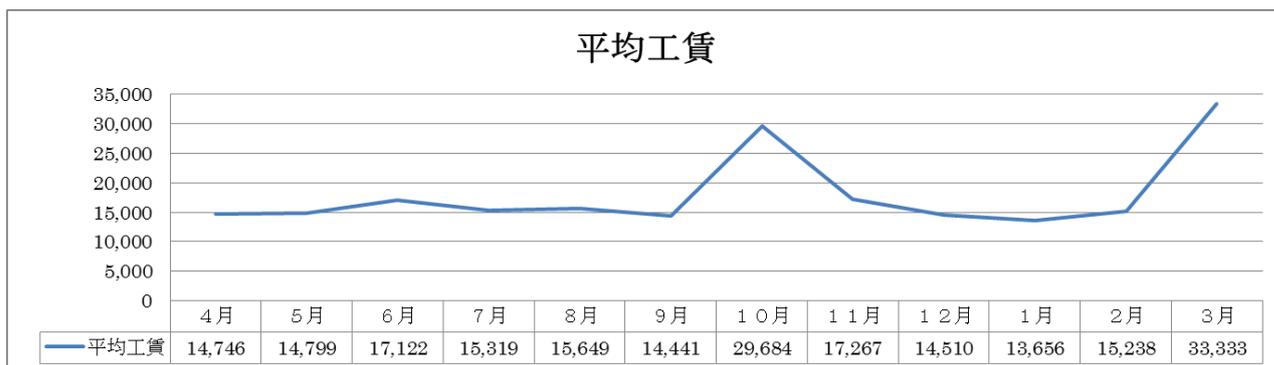
【取り組み期間における目標工賃達成見込み】

問題解決にあたっては、現状分析をし、課題を設定し、対策を立て、実践と振り返りを行った。実践期間は平成28年4月～平成29年3月で、その成果は下記の通り。

平成28年度では目標月額平均工賃17,795円を達成する見込み。(平成29年3月1日発表資料による)



(円)



添付：松里福祉作業所 工賃向上パワーアップワークショップ成果報告書

松戸市工賃向上パワーアップワークショップ (H28 年度)

社会福祉法人 松里福祉会

松里福祉作業所



サービス管理責任者 臼井 準

就労継続支援B型

利用者数 21名 平均年齢 43.5歳

職員数 7名

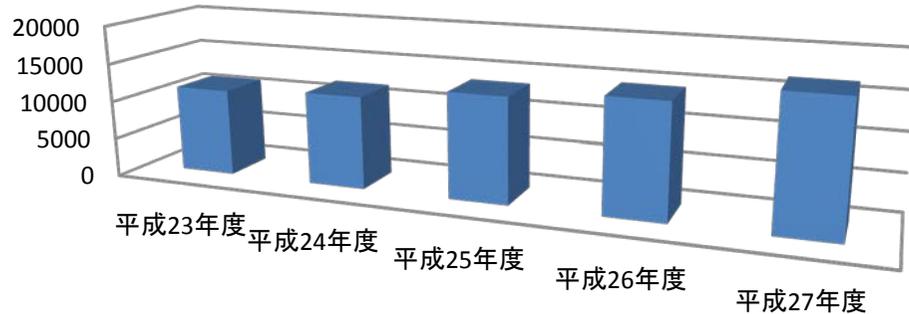
<参加動機>

昨年度ワークショップで気付いた改善点を実行する。

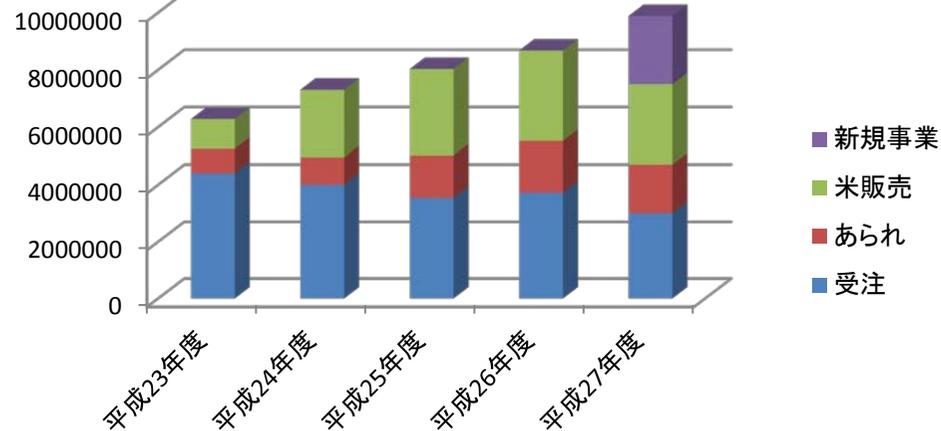
<ありがたい姿>

工賃2万円そしてその先へ

平均工賃



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
■ 平均工賃	11259	11960	13587	14627	16757



5年前より工賃向上

に取り組み始める。

平成27年度千葉県

平均は13,660円

昨年度、施設外就労

給湯器解体が加わる。

平成28年度は

17,745円が目標。

昨年度コメントありがとうございました。(20通)

Q 利用者の出席率が高いのはどうして？

Q 米の流れはどうなっているの？

Q 納期が間に合わない時は残業をしているの？

Q 施設外就労が始まり所内の利用者減対策は？

Q 工賃の基準をどう決めているの？

Q 利益率など工賃向上に手っ取り早い手段は？

Q 利用者工賃向上と同時に職員も給料 up？

- 1、 <受注> 給湯器解体・食品封入・塩加工
⇔ 企業・行政
- 2、 <あられ> 7種類 期間限定 1種類
⇔ 販売会・委託販売
- 3、 <米> こしひかり・ふさこがね
⇔ 法人内給食
- 4、 <施設外就労> 洗濯業務・箱折り・草刈り
⇔ 企業・行政

～特徴～

米の買付 契約農家より仕入れ



自家精米 めか ボカシ I 型・II 型 肥料



こしひかり・ふさこがね 米の販売



もち米・うるち米 加工 あられの製造販売

1、＜受注＞目標 370 万円

戦略 効率化と正確性の向上。

2、＜あられ＞目標 200 万円

戦略 リニューアルを前面に押し出す。

3、＜米＞目標 300 万円

戦略 現状維持 在庫をかかえない。

4、＜施設外就労＞ 目標 490 万円

戦略 実績から信頼。品質の安定。

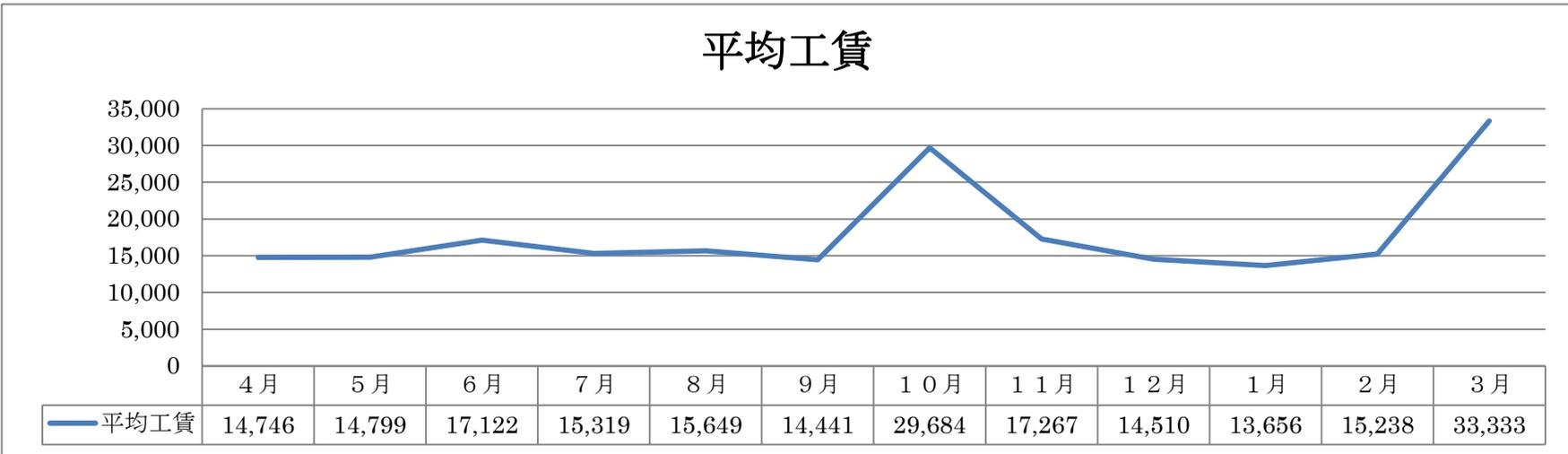
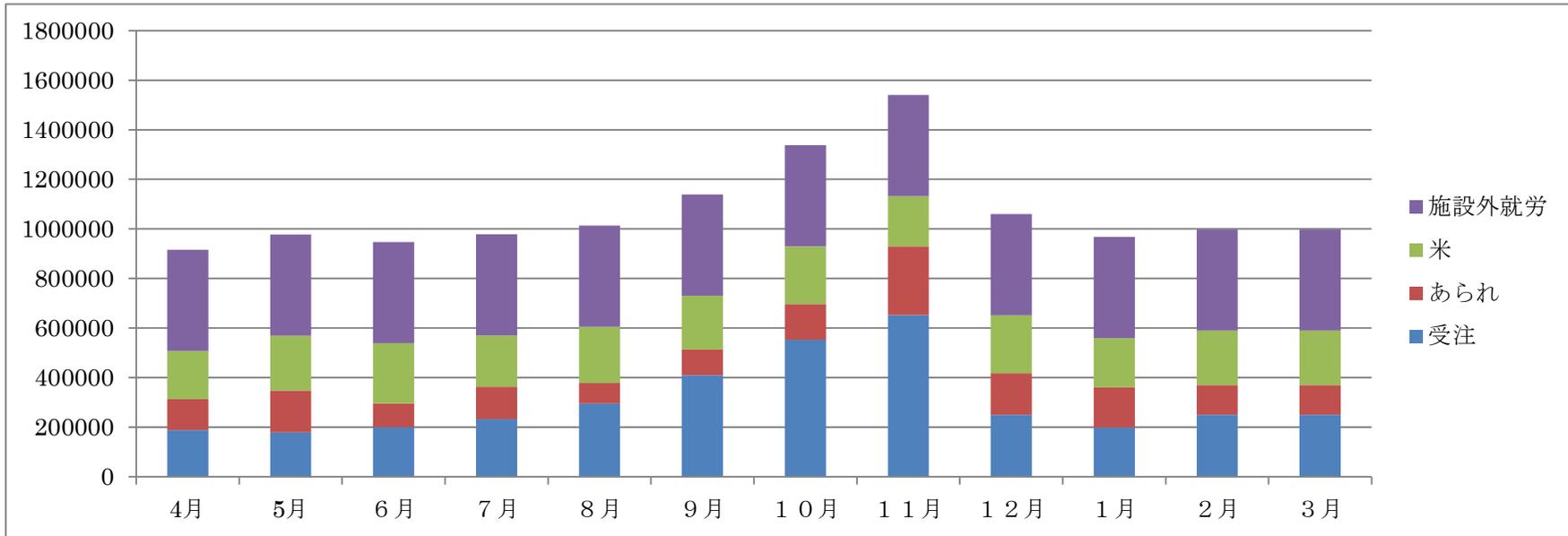
～課題～

- ①施設外就労による事業所内の人数減。
- ②スケジュール管理と効率化。
- ③専門知識の乏しさ。
- ④品質の安定。

「対策」

I、作業記録

II、作業指示書



★平成 28 年度平均工賃 17,795 円★

＜パワーアップワークショップで学んだ事＞

- ・ 事業所の課題をはっきりさせる。
- ・ 明確な目標を決めプランを皆で考え共有する。
- ・ 工賃向上は出来る。

＜来期にむけて・・・＞

- ・ 仕事の整理
- ・ 営業活動